

地域おこし協力隊がゆく

皆さん、こんにちは。地域おこし協力隊の石川伊佐男です。私事ではありますが、四月半ばに上土居から岩丸に転居し、新たなスタートを切りました。

借家は数年間人が住んでいなかったため、庭に畑があつたらしいのですが、ハド（ヒュウジ・カラムシのことだと思いますが、地域によって名称が異なるようです）やセリなどが覆い、根は芋のようになっています。ゴールドデンウィークから少しずつ畑にする努力を始めたところですが、なかなか進みません。近くを通る方に「何を植えますか」と声をかけてもらうのですが「畑になるかな」と不安になってきました。休みの日の畑仕事ですが、暮らしていくことを実感しています。ヒュウジのように太い根が生えるような暮らし方をしたいと思っています。

さて、前回ご報告した石窯ですが、三月末に完成しました。四月には火入れを



写真奥が完成した石窯

し、池川自然学園の生徒たちとピザの試し焼きもしてみしました。実は食べるのに夢中で、写真を撮るのを忘れてしまいました、すみません。五月に入り、石窯に屋根を付けて、雨の日でも使えるものにする予定です。何かのイベントで活用できるように準備していきます。よいアイデアがあつたら教えてください。

また、石窯を地域で活用したいと思う方はいませんか。楽しみながら、一緒に作ってみませんか。興味のある方は仁淀川町役場企画課地域おこし協力隊石川（☎35・1082）までご連絡ください。

活動報告はブログで発信しています → <http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/blog/4037/>

もしくは、地域おこし協力隊ブログで検索 → タイトル：深山幽谷ヒゲな日々 名前：ひげさん

第3回 Bスタイルプロジェクト協働会議を開催します ～グリーンツーリズム・ビジネスについて～

によど自然素材等活用研究会では、昨年10月より「Bスタイル事業」を仁淀川町で展開し、地域資源の再発見、それらを生かしていくための活動を行っています。

今回は5月から仁淀川町に在住し、Bスタイルプロジェクトの研究員として活動している中山琢夫さんに、今までの大学での研究活動の中から、グリーンツーリズム※の現状や課題について、講演してもらいます。

また将来の仁淀川町におけるグリーンツーリズムを、ビジネスとして、地域の皆さんと一緒に考え、意見交換したいと計画しています。

※グリーンツーリズム：農村や漁村での長期滞在型休暇のこと。都市住民が農家などにホームステイして農作業を体験したり、その地域の歴史や自然に親しむ余暇活動

日時：6月23日（木）

14時～16時 参加費無料

場所：仁淀川町基幹集落センター2階会議室

申し込み期限：6月22日（水）

申し込み・問い合わせ

によど自然素材等活用研究会 井上会長

☎090-8696-7707

※Bスタイルプロジェクトのホームページ
(<http://2410style.jp/>) から申し込み
できます



中山琢夫研究員

子どもが主人公・主体的に学ぶ授業へ

4月20日 吾川中学校で「平成23年度仁淀川町教育研究会総会」が開催されました。

この研究会は、本町の全教職員が加入している研究組織で、会員は87人です。

会ではまず、昨年度の活動報告を行い、今年度も引き続き「元気で生き生きと活動で

きる子どもの育成」という研究主題のもとに、
鋭意実践していくことを確認しました。

その後行われた学年・教科部会では、それぞれ



教職員紹介の一こま

れが今年度取り組む研修内容について話し合い「子どもが主体的に学ぶ授業の研究」「生徒が思考・表現する授業づくり」などのテーマを基に、授業改善を進めていくことを決めました。

今後、11月に長者小学校と池川中学校で「仁淀川町教育委員会指定研究発表会」が行われる予定です。

教育研究所も、子どもたちが主人公となって、生活や学習に意欲的に取り組むことができるよう支援していきます。

子どもの読書活動支援員便り

☆お知らせ

①次回の展示予定(中央公民館)

2階ロビー

「未病予防」6月中旬～7月末まで

「若い人に贈る読書のすすめ」5月中旬～7月中旬まで

2階小鳥の巣図書室

「英語絵本」6月中

* 2階ロビー、2階小鳥の巣図書室、3階図書室に展示している本ほとんどが無料で貸し出しできます。(3階図書室には一部貸し出しできない本もあります)

②6月11日は「学校図書館の日」です

1997年学校図書館法が改正され、司書教諭を12学級以上の小中学校に配置することが義務付けられたことを記念して「学校図書館の日」が定められました。雨の多いこの季節、お家の中や図書室などで、ゆっくり本を開いてみるのも良いかもしれませんね。

③図書ボランティアを募集しています

読み聞かせ、季節飾りの作成、新しく入った本の

受け入れなど、さまざまな作業があります。

すべてでなく、都合の良い日だけ、決まった作業
だけでもかまいません。本に関わってみませんか。

子どもの読書活動支援員は、各学校に入っ
ての支援を行っています。自分の母校や、子どもさんや
お孫さんが通っている学校の図書室に支援員と一
緒に行ってみませんか。

作業などに自信がない場合でも、県立図書館員より研修を受けることもできます。興味をもたれた方は一度ご連絡ください。

④いきいきデイにお邪魔します

今年度から新しい試みとして、地域のいろんな方にも本を届けようと、普段本を借りる機会の少ない地域に本を持ってお邪魔させていただきます。その際読み聞かせなども行っています。読んでみたい本があればご連絡ください。一緒に楽しい時間が過ごせたらと思っていますので、よろしくお願いします。

このコーナーに関するお問い合わせは

教育委員会(西田・片岡)

☎ 35-0018 ☎ FAX 35-0010

おかもと整体

全ての人が一度で治る事はありません。体質や症状により個人差があります。

できるだけ容体をたくさん言っていただくことで治療効果が進む場合もあります。おかもと整体へ来てください。

仁淀川町土居甲 1 0 5 2 電話 3 4 - 2 6 3 0

廣告

○受付…午前8時から午後4時まで
(正午から午後1時は休み)

○施術時間…約50分

○料金…一律 3,000 円

○休み…日曜定休

○普段着で来て下さい



★むし歯は感染症

子どもの歯（乳歯）

は、大人の歯（永久歯）に比べて大変軟らかくむし歯になりやすいものです。また、生えてきたばかりの歯は未熟で、むし歯菌の出す酸にすぐ溶かされてしまうため特にむし歯になりやすく、その進行もとても早いのが特徴です。

むし歯の原因となる細菌（特にミュータンス菌）は、生まれたばかりの赤ちゃんには存在しません。それらの多くは、主に母親など家族から乳幼児期に感染することが判明しています。特に奥歯の生えだす一歳半から二歳

輝け！子どもの歯っぴいスマイル！！ ～2歳児歯科健診とフッ素塗布のすすめ～

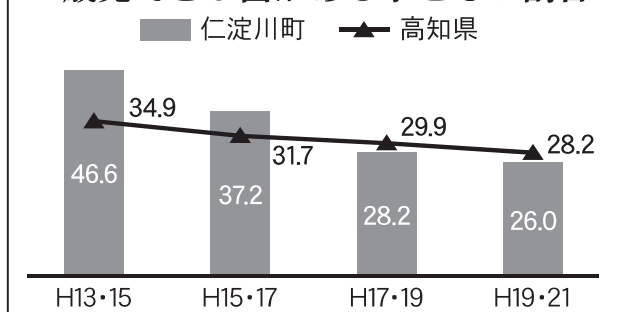
半ころまでに感染することが最も多いといわれています。親がかんだ物を与えたり、スプーンや食器の共用など、家族の唾液が触れたものを赤ちゃんが口にするようなことは避けましょう。周囲の人の口の中のむし歯菌の数が少なければ、感染する可能性も低くなるはずですので、家族でむし歯のある人は早く治療し、口の中を清潔にしておくことが大切です。

★仁淀川町の子どものむし歯の現状

表は、三歳児健診でむし歯のあった子どもの割合を、平成十三年以降、三年ごとに集計して推移を表しています。

約半数の子どもにむし歯のみられる時期もありましたが、ここ最近では、県平均を下回り、約四人に一人の子どもにむし歯がみられる程度に減少してきました。ご家庭でのむし歯予防への関心の高さがうかがえます。

3歳児でむし歯がある子どもの割合



しかし、一歳六カ月健診の時点ではむし歯のある子はほとんどいませんが、三歳児健診までの間にむし歯ができてしまうこと、そのうえ、重症化したむし歯を持つ子どもさんが多いのも現状です。

★むし歯予防のために ①「二歳児歯科健診」を受診しよう

仁淀川町では、二歳半～三歳未満の子どもさんを対象に「二歳児歯科健診」を実施しています。むし歯ができやすいこの時期に、歯

科医師がむし歯の有無やむし歯になりかけていないか、生え方などのチェックをします。また、歯科衛生士や栄養士が保護者への歯みがき指導やむし歯予防についての説明をしています。希望される方には、フッ素塗布も無料で行っていただけますので、必ず受診しましょう。

②フッ素を使って歯を強くしよう

フッ素は、毎日の食事を通して私たちの体に摂取されている必須栄養素の一つで、むし歯の原因であるミュータンス菌の働きを抑える効果や、歯表面のエナメル質を強くするなど、歯にとってもいい効能があります。

仁淀川町では、二歳児歯科健診だけでなく、一歳六カ月児、三歳児健診でも無料でフッ素塗布を行っています。健診やかかりつけ歯科医院で、年に三～四回はフッ素塗布を続けることをお勧めします。

また、フッ素入りの歯みがき剤を使用したり、最近

では、家庭で塗れる市販のフッ素ジェルやスプレーなども出ていますので活用してみてください。

③おやつを見直そう

ジュースやイオン飲料は、強い酸度と糖分により、むし歯の原因になります。哺乳瓶で与えたり、そのまま就寝させてしまうこともやめましょう。また、あめやガム、ソフトキャンディーなど口の中に長い時間入っているものはむし歯の危険性が高くなります。

おやつで一番注意したいのは「だらだらと食べ（飲ま）させない」こと。時間や量を決め、食べる量だけ与えるようにしましょう。「食べたら歯みがき」が基本ですが、歯みがきできない時は、口をすすいだり、お茶を飲むことでも効果があります。

子どもの歯を守っていくのは保護者の役目です。子どもが自分で歯の健康を守れるようになるまで、家庭、地域で見守っていきましょう。